

自殺未遂者の再度の自殺を予防する

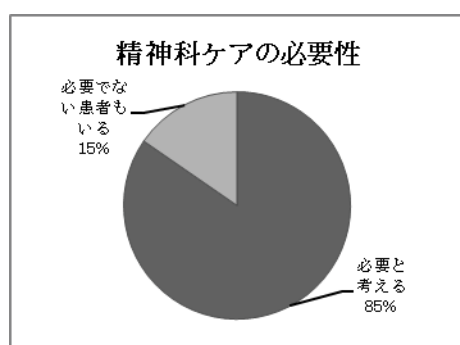
自殺未遂・自傷関連行動は、自殺の最も大きな危険因子であり、救急病院に搬送された自殺企図者等の実態及び救急病院医療従事者の意識を調査することにより、自殺未遂者等のハイリスク者の支援策を検討するための基礎資料を得ることができた。

救急病院の調査にあたっては、病院毎に調査目的の説明を行い、モデル地域の救急病院の協力を得ることができた。また、これまで先行事例が少なく、実態の把握が困難であった自殺未遂者等の実態と救急病院医療従事者の意識を把握できたことは、実効性のある自殺対策の立案につながるものと期待できる。

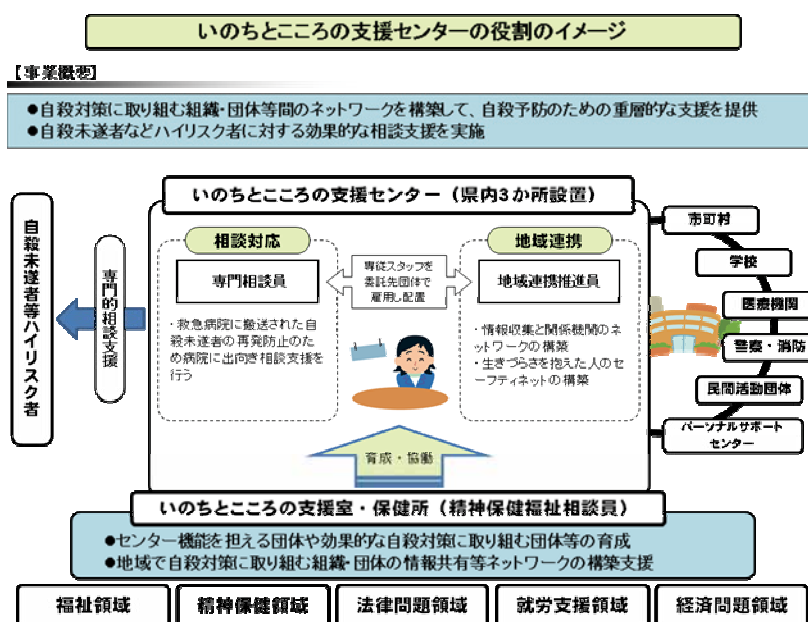
当県では、平成24年度に救急病院に搬送された自殺未遂者等に対して継続的かつ専門的支援を提供するため、地域自殺対策緊急強化基金を利用して「いのちとこころの支援センター事業」を実施する予定であり、本事業により得られた知見を活用してハイリスク者の支援を行う。

また、本事業により得られた知見については、県内の救急病院等の医療機関や消防機関、警察、学校、行政機関、民間団体等に広く提供することとし、併せて、市町村や民間団体に対する自殺対策補助事業を実施することにより、各機関による独自の取組の促進につなげる予定である。

【救急病院における自殺企図対応調査】



今後望まれるシステム・支援について	回答数	割合
1. 精神科を受診するための支援	57	64.0%
2. 医療情報システム	32	36.0%
3. 連絡調整システム	54	60.7%
4. 地域支援の担当者が救急治療中関わること	46	51.7%
5. 継続的に支援する制度	15	16.9%
6. その他	3	3.4%



(問合せ先) 新潟県県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室
 TEL:025-280-5201
 E-mail: shimbo.kazutoshi@pref.niigata.lg.jp